

青春～アオハル～

天童高等学校
1年次通信第26号
令和5年1月27日

「2月上旬に取り組むべきこと」

1月20日（金）から二十四節気という「大寒」に入りました。全国的に非常に寒い日が続いています。1月25日（水）には雪の影響により、公共交通機関で一部の路線が運休したことから、自宅での課題学習やオンラインでの授業への参加という形で学習に取り組んだ生徒が何名かいました。厳しい気候の中にありますが、来週2月4日（土）には「立春」を迎えます。確実に季節が春に向かう中で、生徒一人一人が学校生活をとおり、人間的に成長していくことが大切です。

2月下旬には、今年度を締めくくる後期期末考査が実施されます。今回は、2月を迎えるこの時期にぜひ取り組んで欲しいことを3つ述べます。

1 後期期末考査まで残された期間を見て、学習の計画を立てること。

今月上旬に3回目の進路希望調査が行われました。1年次の調査結果を見ると、2回目の調査と比較して進路希望がより明確になってきた印象を受けます。将来の進路選択の幅を広げていくためにも、定期考査には十分に学習して臨みたいといった声もみなさんの中から聞こえてきます。

後期期末考査まで約20日前です。学習計画については、試験1週間前までにやるべきこと、1週間前から重点的にやることといったようにある程度整理して立てるとよいと思われます。また、計画どおりにいかない場合も決してあせらないことです。日々自分の達成度をきちんと確認し、学習の内容を変える必要があればその都度修正を図っていきましょう。

2 各科目で実施される小テスト、課題には丁寧に取り組むこと。

教科によっては、試験前に何回か小テストが実施されるはずですが、以前にもこの通信でふれましたが、ぜひこうした機会を大切にしたいと思えます。とにかく1回1回の小テストに丁寧に取り組んでいくことです。丁寧に臨めば必ず次のステップが見えてきます。また、教科担任の先生が出す課題についてもテスト対策という意識を持ち、提出期限厳守で取り組んで下さい。必ずみなさんの血となり肉となるはずですが。

3 健康管理に努め、日々の授業には目的を持って臨むこと。

学力向上の鍵は、「日々の授業」にあります。授業の中で、教科担任の先生の話をよく聞くことはもちろん、問いかけに対して主体的に考え発表したり、クラスメイトと意見を交換したりすることは必ず個々の学力向上へとつながります。その点を強く自覚し、日々の授業には目的を持って臨んで欲しいと思えます。もちろん学習に取り組むには、健康な体が必要不可欠です。毎日の健康管理にもしっかりと努めていきましょう。

年 次 主 任